



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月8日

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所 東・名
 コード番号 7975 URL http://www.lihit-lab.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中宏和
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)早川大介 (TEL) 06(6946)2558
 四半期報告書提出予定日 2021年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	6,392	△13.9	386	6.1	376	3.8	262	11.1
2020年2月期第3四半期	7,425	△2.7	364	△32.8	362	△39.1	236	△36.2

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 159百万円(△3.3%) 2020年2月期第3四半期 164百万円(△56.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	154.76	—
2020年2月期第3四半期	139.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	12,579	9,472	75.3
2020年2月期	13,192	9,398	71.2

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 9,472百万円 2020年2月期 9,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	△11.4	400	△18.9	400	△18.9	280	△17.0	165.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年2月期3Q	1,907,850株	2020年2月期	1,907,850株
2021年2月期3Q	211,039株	2020年2月期	210,957株
2021年2月期3Q	1,696,836株	2020年2月期3Q	1,696,977株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年11月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一時大きく落ち込んだものの、緊急事態宣言の解除後は感染症拡大防止と経済活動の両立を図る動きが広がり、景気は緩やかに持ち直していく局面となっております。ただ、足元では第3波とみられる感染症の再拡大が起きており、一部の業種では営業の自粛が要請されるなど経済活動抑制の動きが強まっていることから、景気が足踏み状態に陥る可能性も想定されます。また、海外では中国が景気回復基調に入っているものの、欧米や新興国では依然として感染症拡大が続いており、世界経済の回復が遅れることも懸念されます。

当業界におきましては、女性や若年層を中心とした個人需要の多様化や企業のデジタル化の進展等により全体的なニーズの変化が強まりつつあり、従来型の事務用品の枠を超えた広範な商品構成への拡充が必要となる状況にあります。特にウィズコロナを前提とした活動様式が定着していく中で、感染防止対策用品や抗菌・抗ウイルス対応商品等が強く求められることも予想されます。また、販売チャネルについても非対面型の販売方法が普及していく中で、国内外ともにECマーケットへのシフトが一段と進んでいくものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループでは事務用品等事業におきまして「良い品はお徳です」をモットーに、お客様に喜ばれる製品・機能性やデザイン性に優れた魅力ある製品の開発を積極的に進め、売上の拡大に努めてまいりました。主な新製品としましては、国産帆布を使用した「HINEMO(ヒネモ)シリーズ」や軽やかではじけるイメージの「CUBE FIZZ(キューブフィズ)シリーズ」が新たにラインナップされたほか、ワーキングシーンをスマートにサポートする「SMART FIT ALTNA(スマートフィットオルトナ)シリーズ」が新アイテムを拡充させて売上を伸ばしました。

また感染症対策商品として、医療・教育現場のほか日常生活でも使いやすい「フェイスシールド」を2タイプ発売するとともに、一部製品を自治体に寄付いたしました。

既存製品の中では、机収納シリーズの「机上台」、「クリヤーブック」、「カラークリヤーホルダー」等が引き続きご好評をいただきました。

しかしながら事務用品等事業につきましては、このような新製品の積極的な投入が売上に貢献したものの、コロナ禍の影響による既製品の落ち込みをカバーし切れず、前年同期比減収となりました。

一方で不動産賃貸事業につきましては、テナントの稼働率が引き続き良好な水準で推移するとともに、前年8月に稼働を開始した東京支店ビル内の賃貸マンションの賃料収入が、今期は通期で寄与していることにより、前年同期比増収となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,392百万円(前年同期比13.9%減)となりました。

利益面につきましては、売上減少の影響が大きかったものの利益率の改善と経費削減に注力した結果、営業利益は386百万円(前年同期比6.1%増)、経常利益は376百万円(前年同期比3.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は262百万円(前年同期比11.1%増)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高(百万円)	構成比(%)	前年同期比増減(%)
フ ァ イ ル	1,868	29.2	△13.7
バインダー・クリヤーブック	1,462	22.9	△4.7
収 納 整 理 用 品	2,104	32.9	△19.9
そ の 他 事 務 用 品	608	9.6	△20.5
事 務 用 品 等 事 業	6,044	94.6	△14.8
不 動 産 賃 貸 事 業	348	5.4	5.7
合 計	6,392	100.0	△13.9

[事務用品等事業]

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

<ファイル部門>

クリヤーホルダー、リングファイル、パンチレスファイル、ルーパーファイル、クリップファイル等を主要製品とするファイル部門の売上高は1,868百万円(前年同期比13.7%減)となりました。

<バインダー・クリヤーブック部門>

クリヤーブック、クリヤーポケット、ツイストノート、多穴リングバインダー等を主要製品とするバインダー・クリヤーブック部門の売上高は1,462百万円(前年同期比4.7%減)となりました。

<収納整理用品部門>

ペンケース、机上台、クリアケース、バッグ、デスクトレイ等を主要製品とする収納整理用品部門の売上高は2,104百万円(前年同期比19.9%減)となりました。

<その他事務用品部門>

スライドカッター、コンパクトホッチキス、オートパンチ、ペーパードリル、カルテフォルダー等を主要製品とするその他事務用品部門の売上高は608百万円(前年同期比20.5%減)となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は6,044百万円(前年同期比14.8%減)となり、営業利益は251百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

[不動産賃貸事業]

不動産賃貸事業は、本社ビルのテナント稼働率が引き続き良好な水準で推移したこと等により、売上高は348百万円(前年同期比5.7%増)となり、営業利益は135百万円(前年同期比26.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ613百万円減少し、12,579百万円となりました。このうち流動資産は現金及び預金が増加となる一方で、受取手形及び売掛金や電子記録債権等が減少したことにより、合計で320百万円減少しました。また、固定資産は減価償却等により建物及び構築物や機械装置及び運搬具が減少し、時価の下落等により投資有価証券も減少したことにより、合計で293百万円の減少となりました。負債合計は前連結会計年度末に比べ687百万円減少し、3,106百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金、電子記録債務、借入金等が減少したことによるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ74百万円増加し、9,472百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加等によるものであります。この結果、自己資本比率は75.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期通期連結業績予想につきましては、2020年10月5日に公表いたしました連結業績予想から修正しておりません。詳細につきましては、2020年10月5日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,679,302	1,902,754
受取手形及び売掛金	1,706,734	1,176,804
電子記録債権	322,127	266,413
商品及び製品	1,742,828	1,889,734
仕掛品	126,860	102,203
原材料及び貯蔵品	558,712	514,331
その他	79,838	43,009
貸倒引当金	△4,124	△2,987
流動資産合計	6,212,279	5,892,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,485,580	2,361,535
機械装置及び運搬具(純額)	257,573	207,220
土地	2,925,180	2,925,180
その他(純額)	89,655	96,601
有形固定資産合計	5,757,989	5,590,538
無形固定資産	18,051	13,307
投資その他の資産		
投資有価証券	814,242	727,061
その他	396,441	362,087
貸倒引当金	△6,075	△5,712
投資その他の資産合計	1,204,608	1,083,436
固定資産合計	6,980,650	6,687,282
資産合計	13,192,929	12,579,546

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	327,282	244,383
電子記録債務	279,617	125,336
短期借入金	610,000	240,000
未払法人税等	73,737	44,593
賞与引当金	135,248	134,803
役員賞与引当金	14,450	18,730
その他	399,457	385,586
流動負債合計	1,839,793	1,193,432
固定負債		
長期借入金	530,000	572,000
繰延税金負債	90,451	46,543
役員退職慰労引当金	185,600	180,899
退職給付に係る負債	871,122	819,456
その他	277,626	294,660
固定負債合計	1,954,799	1,913,559
負債合計	3,794,593	3,106,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,861	1,411,861
利益剰余金	6,178,416	6,356,176
自己株式	△400,868	△400,992
株主資本合計	9,019,409	9,197,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304,342	243,346
繰延ヘッジ損益	21,503	△12,466
為替換算調整勘定	103,562	83,311
退職給付に係る調整累計額	△50,482	△38,681
その他の包括利益累計額合計	378,926	275,509
純資産合計	9,398,336	9,472,554
負債純資産合計	13,192,929	12,579,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
売上高	7,425,256	6,392,795
売上原価	4,899,847	4,142,297
売上総利益	2,525,408	2,250,497
販売費及び一般管理費	2,160,803	1,863,633
営業利益	364,605	386,864
営業外収益		
受取利息	89	38
受取配当金	13,012	14,572
受取保険金	10,924	13,967
雑収入	8,192	6,518
営業外収益合計	32,218	35,097
営業外費用		
支払利息	5,270	5,973
支払手数料	4,954	4,864
為替差損	13,284	29,203
雑損失	10,386	5,164
営業外費用合計	33,896	45,205
経常利益	362,927	376,755
特別損失		
固定資産廃棄損	7,866	204
特別損失合計	7,866	204
税金等調整前四半期純利益	355,060	376,551
法人税等	118,671	113,947
四半期純利益	236,389	262,603
親会社株主に帰属する四半期純利益	236,389	262,603

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	236,389	262,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76,575	△60,995
繰延ヘッジ損益	15,426	△33,970
為替換算調整勘定	△23,068	△20,250
退職給付に係る調整額	12,385	11,801
その他の包括利益合計	△71,831	△103,416
四半期包括利益	164,558	159,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164,558	159,187
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルスの感染症拡大や長期化による不確実性が高い状況にあり、今後の拡大や収束時期等を予測することは困難なことから、今後、一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、当社グループは、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行なっております。

なお、この仮定は不確実性が高く、影響が長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,095,684	329,572	7,425,256	—	7,425,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,201	1,201	△1,201	—
計	7,095,684	330,773	7,426,458	△1,201	7,425,256
セグメント利益	257,761	106,844	364,605	—	364,605

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,044,594	348,200	6,392,795	—	6,392,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,318	1,318	△1,318	—
計	6,044,594	349,519	6,394,113	△1,318	6,392,795
セグメント利益	251,818	135,046	386,864	—	386,864

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。